

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	消防用施設設備整備事業						担当部	消防本部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	消防総務課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係		
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		3 消防・救急		1 消防・救急体制を強化します				
		副目的									
	予算区分	款	9	項	1	目	3	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	消防法、消防組織法									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	消防施設及び資機材を充実させることにより消防力を充実させる。									
	内容 (手段)	<p>◆平成25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設については、庁舎施設保守委託業者からの点検結果報告及び担当職員の巡視結果を基に更新、改修等を実施する。 資機材については、継続的な維持管理を実施し、必要に応じ更新等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 給湯器等のガス設備機器の取替え 高架水槽の取替え 変電設備機器の改修 <p>◆平成25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防本部庁舎改修工事設計監理委託(1,071千円) 消防本部庁舎改修工事(12,075千円) <p>◆平成26年度実施内容及び直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防本部ガス管改修工事(1,100千円) 消防本部・東支署電気設備改修工事(3,500千円) 出動標示灯改修工事(1,400千円) 									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,841	35,518	13,146	6,000	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,052	1,052	1,052	1,052
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	4,893	36,570	14,198	7,052	
対前年比		%		747.3	38.8	49.6		
財源	一般財源	千円	4,893	36,570	14,198	7,052		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	消防施設の整備	件	目標	—	1	1	3
			実績	2	1	1	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
消防施設の整備	件	目標	—	1	1	3	
		実績	2	1	1		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		消防施設の保守点検を怠ると法令違反となる。また、機能維持ができない。継続的な維持管理を怠ると現場活動時、資機材が使用できない。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		事業を廃止することにより、消防用施設及び資機材に不備が生じ、消防活動等に影響を及ぼすおそれがある。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	現状を維持し、消防施設等の充実を図る。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	消防用資機材についても、老朽化及び災害現場での使用により故障が考えられるため、現状のとおり事業を進めていくことが妥当である。事業を継続することにより、消防施設及び資機材の充実を図ることが消防活動全般における充実につながる。		
	27年度以降の改善案	施設については、保守計画を基に保守委託の予算措置及び職員による定期的な巡視を行い、早期に更新、改修等を行い費用の軽減を図る。資機材については、職員による日常点検、月例点検及び業者による保守点検を行い、故障等を未然に防ぐ。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 ただし、ファシリティマネジメントの視点から、計画的に改修工事を実施し、建物の長寿命化を図ること。